

わたしたちのくらしと 地域経済を支えるインフラ

本県では「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を計画的に進めることで、ストック効果の高い社会資本を整備し、安心と希望を育む『みやざき新時代』の実現を目指します！

この事例集は、このような本県の取組を紹介します。



令和2年10月16日 宮崎駅西口駅前広場リニューアルオープン！

令和3年1月
宮崎県 県土整備部



目 次

【高速道路】

- P 1 大規模災害発生時に高速道路が **支援路・代替路**として機能！
- P 2 高速道路の開通で **地域経済の活性化**！

【道路】

- P 3 物流拠点へのアクセス性向上により **民間投資を誘発**！
- P 4 人流・物流の活性化で **生産性向上・経済成長を牽引**！
- P 5 災害に強い道路整備により **中山間地域の活性化に貢献**！
- P 6 橋梁の耐震性能強化で **大規模地震発生時における人流・物流の確保**！

【港湾】

- P 7 港の整備による **基幹産業の活性化**！
- P 8 陸路と海路の整備による **物流機能の拡大・強化** と **津波避難対策**！
- P 9 港の整備による **県南地域の産業活性化** と **災害発生時における受入体制の確保**！

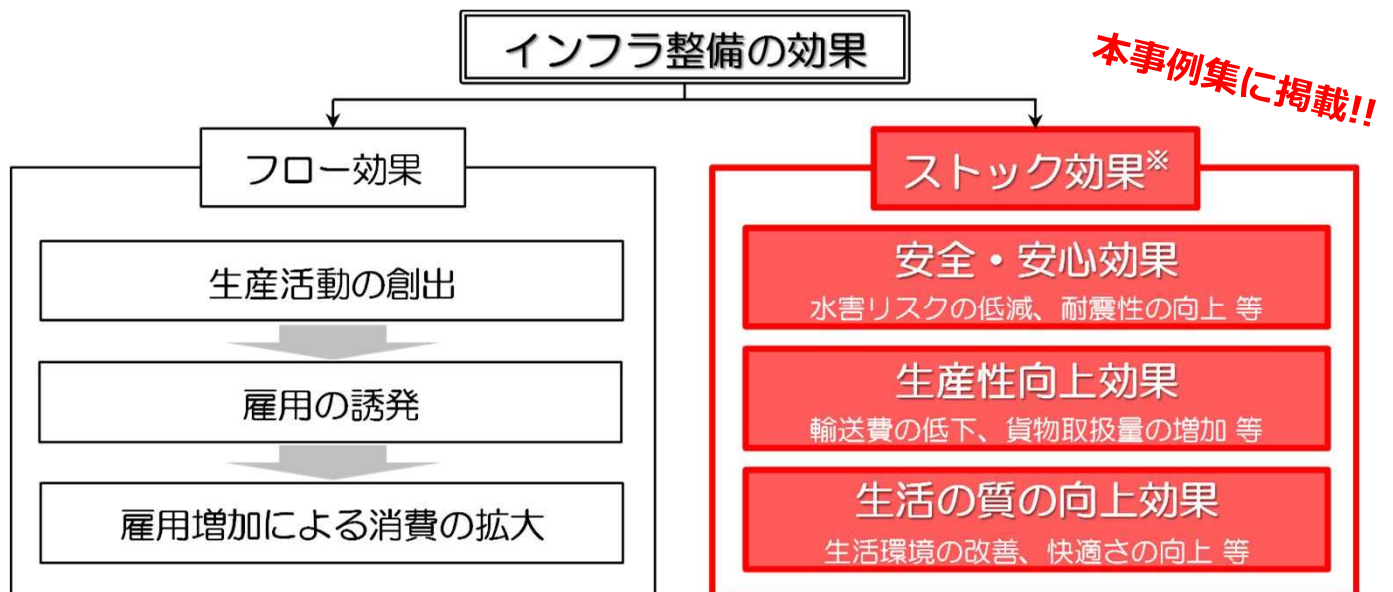
【河川・砂防】

- P10 【国土強靱化】 **河道掘削等** で家屋の **浸水被害** を **解消**！
- P11 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による **地域防災力の向上**！

【都市整備】

- P12 コロナ禍で再評価された **都市公園の更なる魅力向上**！
- P13 宮崎駅西口駅前広場の再整備で **中心市街地の活性化に貢献**！

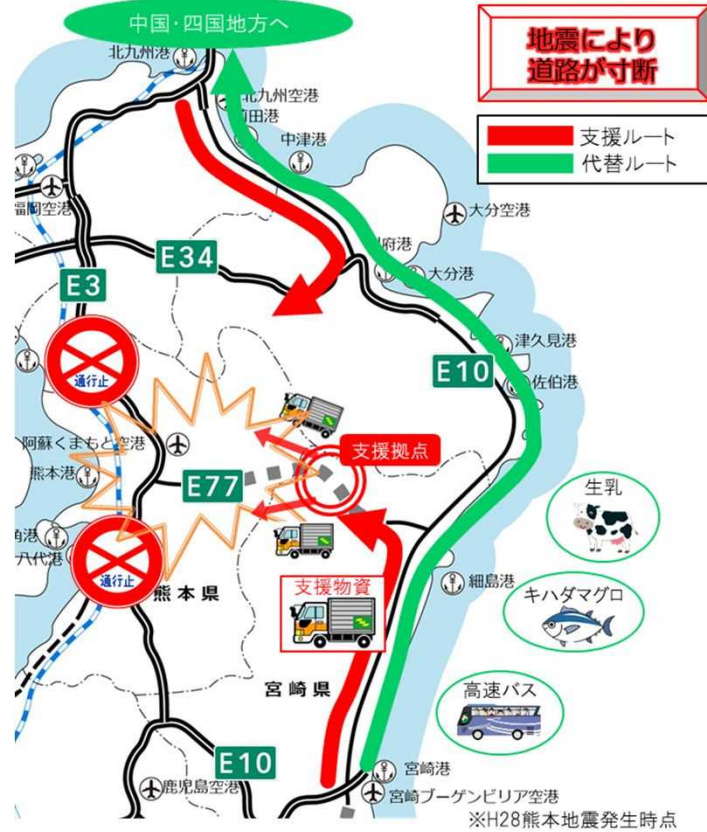
ストック効果とは？



※整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果

熊本地震発生後において、**東九州自動車道、九州中央自動車道**が被災地の**復興**及び九州全体の**経済を支える役割**を果たす！

東九州道・九州中央道

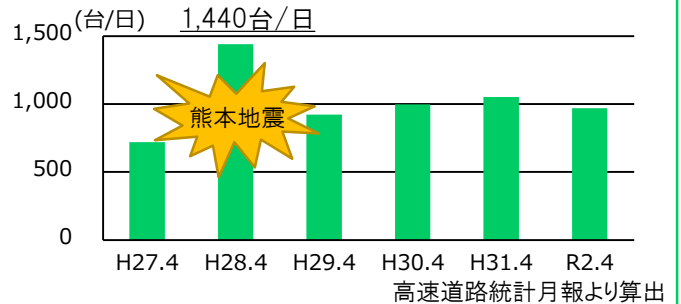


被災地への支援ルートとして機能



九州縦貫自動車道の代替ルートとして機能

【中型車以上交通量推移(門川IC～清武南IC)】



求められるミッシングリンク解消と4車線化



ミッシングリンク解消

南海トラフ地震発生時の支援ルート確保

南海トラフ地震発生時
東九州地域沿岸部は大津波により**地域が孤立**

暫定2車線区間の4車線化

高速道路が被災した際、**早期の交通機能回復**

熊本地震の際
九州縦貫自動車道は**4車線**のため、上り線を利用し
早期に交通機能を確保



九州中央自動車道 蘇陽五ヶ瀬道路 中心杭打式(R2.11.23)



東九州自動車道(宮崎西～清武) 4車線化等事業着工式(R2.12.6)

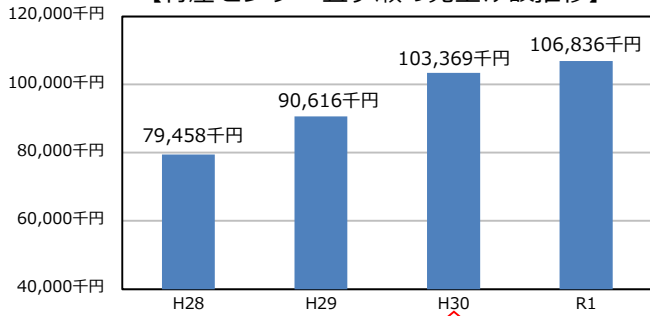
高速道路の開通で 地域経済の活性化！



特産センター五ヶ瀬 売上げ増

売上げ額が2年連続で1億円超え
令和元年度は過去最高を更新

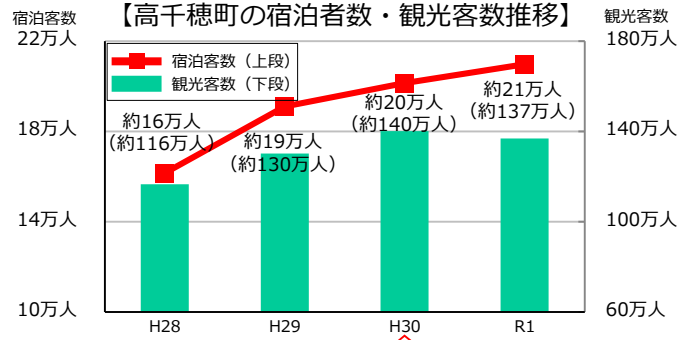
【特産センター五ヶ瀬の売上げ額推移】



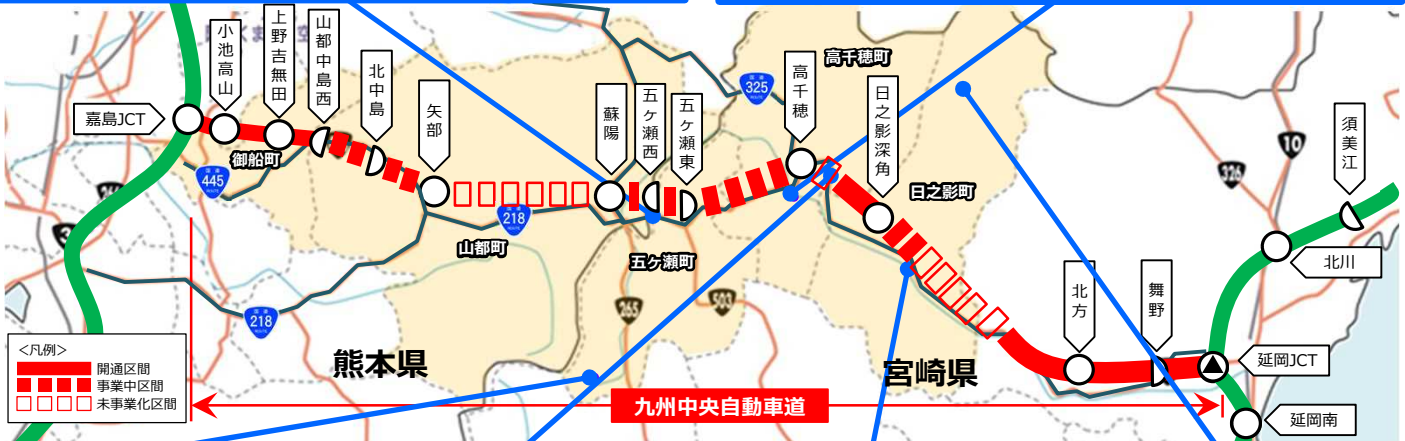
高千穂町 宿泊客の増加

令和元年度の宿泊者数
20万9800人で過去最多

【高千穂町の宿泊者数・観光客数推移】



「雲海橋～日之影深角」(L=2.8km)開通、「小池高山～山都中島西」(L=10.8km)開通



五ヶ瀬町 五ヶ瀬ハイランドスキー場

- 日本最南端のスキー場
- レストランやショップ等の施設も充実

高千穂町 鉄道公園化構想

- 高千穂鉄道跡地を公園化
- 鉄橋に遊歩道整備 (水面からの高さ105m 鉄橋では日本一)

日之影町 道の駅「青雲橋」

- 商工・観光の中核として新築リニューアル (2019年11月グランドオープン)

日之影町 見立渓谷

- 釣りや紅葉の名所
- 毎年11月には、紅葉まつりを開催

九州中央自動車道整備

交流人口加

観光産業活性化!!

物流拠点へのアクセス性向上により 民間投資を誘発！



さらなる企業誘致に向け、都城 IC 周辺に新たな工業団地を整備中！

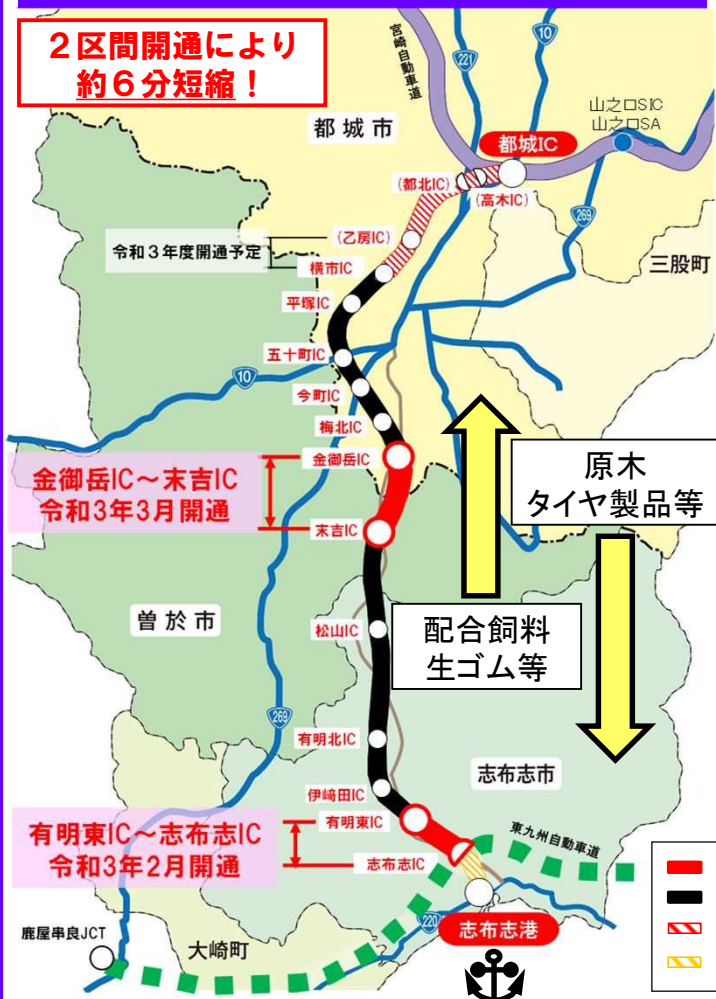
都城志布志道路

都城インター工業団地配置図

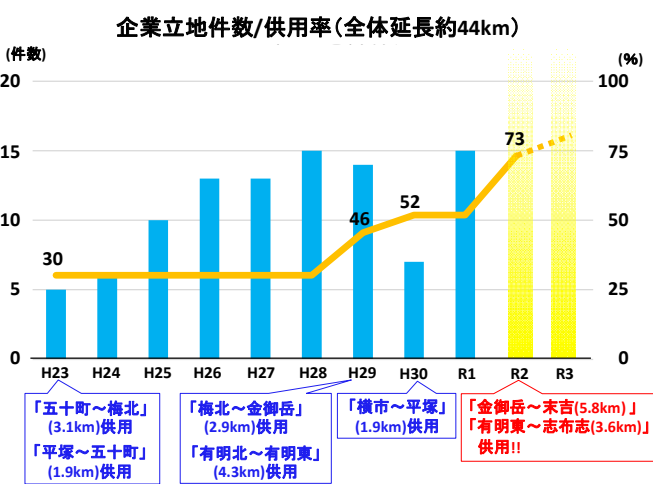


今年度新たに2区間が開通し、横市IC～志布志ICまでが利用可能!!!

2区間開通により
約6分短縮!



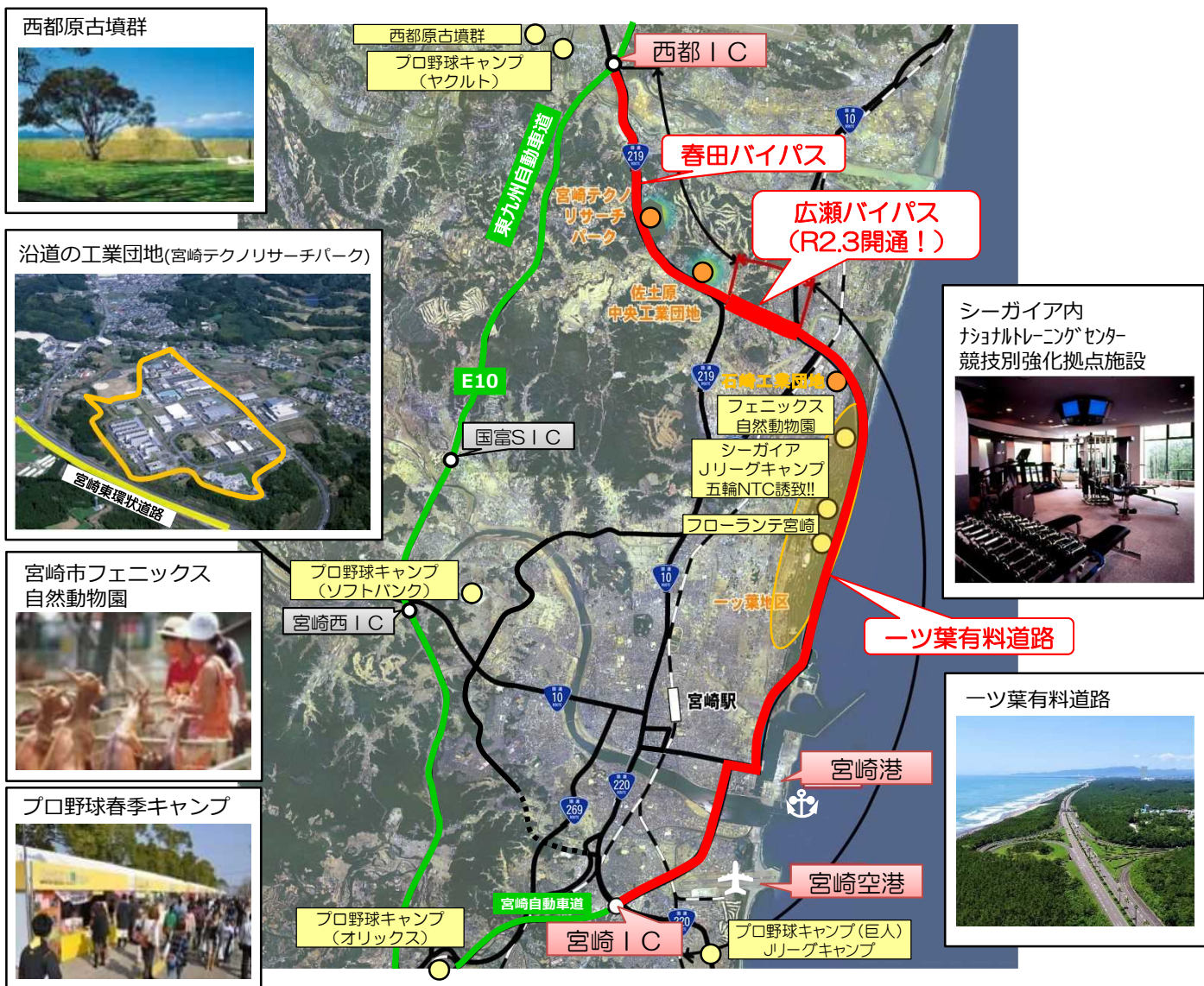
- ◎都城志布志道路の全線開通を見据え、周辺地域では企業立地件数が年々増加!
- ◎都城IC周辺に新たな工業団地を造成中。今後、更なる企業進出に期待!



木材運搬状況 (県産木材を志布志港へ)

注) インターチェンジ名のうち () は仮称

宮崎東環状道路全線開通により陸・海・空の玄関口が直結し沿線の観光施設・物流拠点へのアクセス性や周遊性が向上！



物流拠点への定時性・速達性が向上！

企業立地件数が増加！

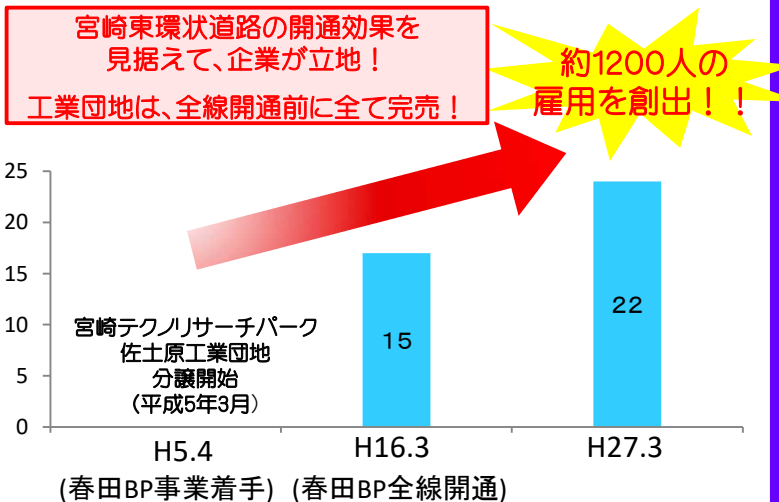
西都IC～宮崎港の場合

○一般道路利用
(国道219号 + 国道10号)
区間距離：約25km
所要時間：約40分

○宮崎東環状道路利用
区間距離：約23km
所要時間：約25分

区間距離が約2km短縮!!!

所要時間が約15分短縮!!!



災害に強い道路整備により中山間地域の活性化に貢献！



道路整備と西米良村の観光



西米良村の観光客数

年	観光客数
H30	12.1万人
R1	12.1万人

山治いの道が良くなることで、人や物流がスムーズになるのはとても良いことです。今後も道路の発展をお願いします！

観光客の声

西米良村(人口約1,000人)に、毎年10万人以上の観光客が訪れている。一方、**長期間の通行規制を伴う大規模な災害が発生により、沿線住民の生活や観光に影響あり。**(国道219号は、宮崎市や西都市と西米良村を結ぶ唯一の幹線道路)

「被災する道路」から「救援する道路へ」～国土強靱化～



県内外から多くの観光客が訪れる西米良村



橋梁の耐震性能強化で 大規模地震発生時における人流・物流の確保！



九州東進作戦の要となる国道218号(優先啓開ルート)の橋梁の耐震補強を推進



変位制限装置の設置
地震時の免震効果を発揮



アーチ基部改修



千支大橋



座屈拘束ブレース交換



橋脚補強
コンクリート巻立

南海トラフ大地震発生時においても通行可能な状態を維持することで、人流・物流を確保し、熊本、福岡方面からの支援を受けることが可能となる。

港の整備による 基幹産業の活性化！



重要港湾 細島港



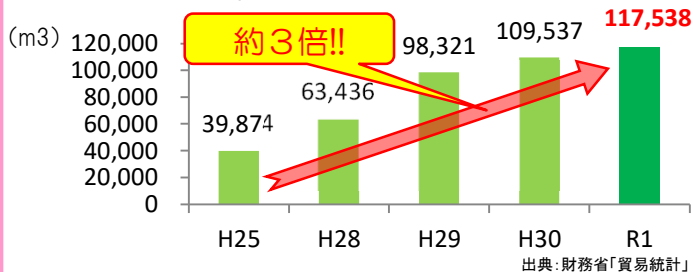
木材消費量の拡大

16号岸壁整備 着工！

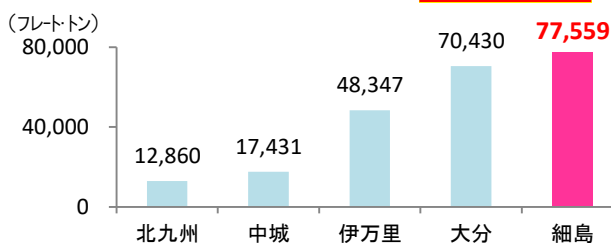
製材消費量増加と原木輸出量増加で
林業再生に期待



細島港の丸太輸出量(年)



平成30年 木材チップ(輸移出) **九州1位**



原木を取扱う岸壁が整備され、
林産品輸移出量のさらなる増加が期待！

陸路と海路の整備による 物流機能の拡大・強化と津波避難対策！

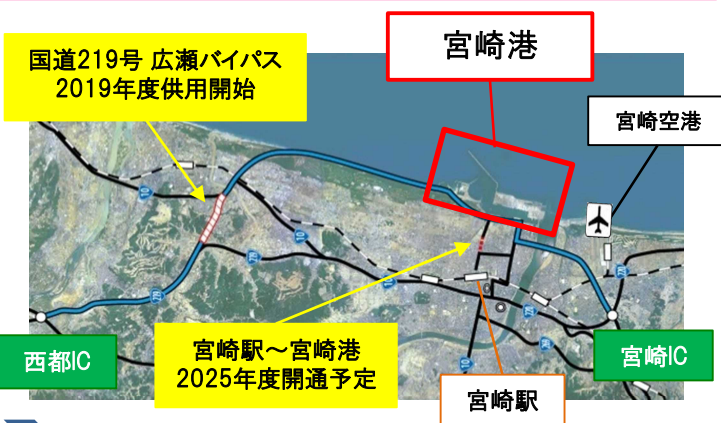


重要港湾 宮崎港



フェリーの利用状況

利用拡大に向けて



- **2022年に、カーフェリー大型化**
トラック積載台数の増加で、
ドライバーの負担軽減
- 都市圏に向け、安価で大量輸送が可能
- 個室増加(29室から220室に)で、
多様な旅客ニーズに対応
- サイドスロープ(車輛乗船用可動橋)設置により、
荷役時間短縮(2時間50分から1時間40分に)

➤ 陸路と海路の整備により
**貨物やフェリー乗降客数の
増加が期待される**
フェリーの大型化との相乗効果も見込まれる

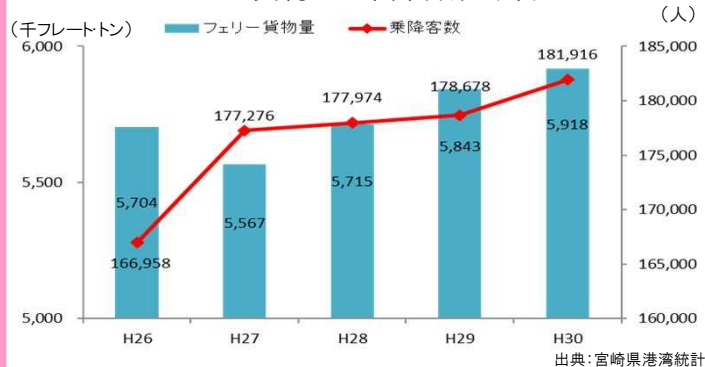
一ツ葉地区 津波避難高台完成



県内最大規模の避難施設で、
3,280人の収容が可能

- 既設の避難高台とあわせて
約5,000人の避難者が受入可能に！

フェリー貨物量と乗降客数 (年)



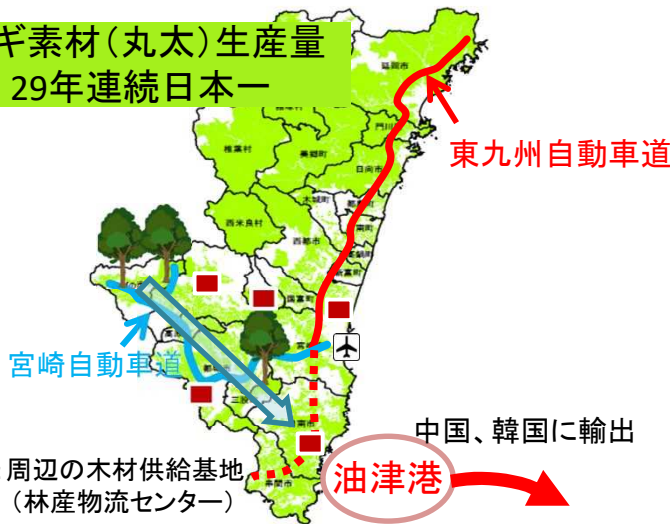
港の整備による 県南地域の産業活性化と 災害発生時における受入体制の確保！



原木の輸出増加

災害発生時の受入体制

スギ素材(丸太)生産量
29年連続日本一



◎耐震強化岸壁の整備(国土強靱化)
▶ 令和3年度完成を目標に整備



◎油津港原木輸出量



出典:国土交通省「港湾統計」

▶ M8.9の大震災発生時、背後圏(日南市、串間市) **約7万人**へ **緊急物資の輸送が可能に！**

▶ 本整備の完了により、県内の重要港湾(細島、宮崎、油津)に耐震強化岸壁が配置され、災害発生時に **県内全域にスピーディかつ効率的に緊急物資が行き届くことになる**

【国土強靱化】河道掘削等で家屋の浸水被害を解消



市木川水系市木川
浸水状況

市木川流域では、これまで平成24年 平成29年の出水で浸水被害が発生。

浸水被害の常襲地区であった。



過去に浸水被害の大きかった支川合流点付近を中心に 河道掘削等を実施

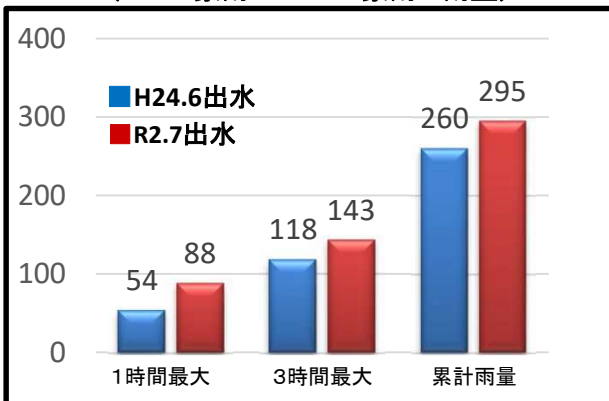


整備効果

河道掘削により家屋の浸水戸数が 13戸 → 0戸 被害を解消!!

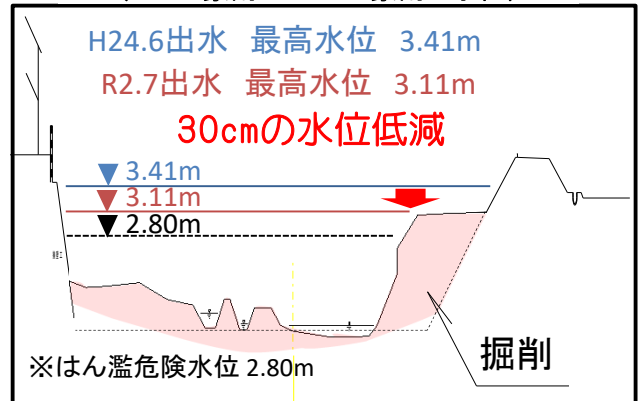
雨量 比較

(H24.6豪雨 と R2.7豪雨の雨量)



河川水位 比較

(H24.6豪雨 と R2.7豪雨の水位)



平成24年と同規模の降雨であったが、河道掘削を行ったことにより、平成24年出水の浸水戸数13戸が、今回は、0であった。

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 による 地域防災力の向上！



水害・土砂災害から命を守るインフラの強化

小林市 巢之浦川



既存施設を有効活用することにより、土石流による被害を軽減

西米良村 鶴地区



法面工により、がけ崩れから公共施設や人家を保全

全体で86箇所の事業実施箇所のうち、18箇所（9溪流、9地区）を国土強靱化で実施。事業の進捗が加速し、概成箇所が通常予算時の約1.3倍！（※5か年平均概成数7.8→令和元年度10箇所）

避難所7施設等を保全することにより、約2000人の安全が確保された。

施設の整備と実効性のある避難の確保により

「いのち」と「暮らし」を守る土砂災害対策の推進

コロナ禍で再評価された 都市公園の更なる魅力向上！

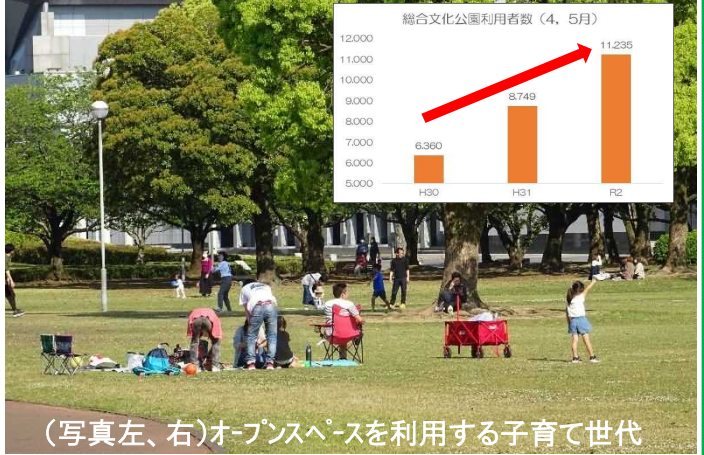


新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言以降、屋内施設が閉鎖される中、オープンスペースである都市公園のポテンシャルが再評価されている。

県立平和台公園(アスレチック広場)



県総合文化公園(文化広場)



ポストコロナを見据え、都市公園の更なる魅力向上を図る事業に着手!!
2027年国民スポーツ大会開催に向け、都市公園事業を計画的に展開!!

① 新しい生活様式、観光振興に寄与する整備

水栓タイル化、展望台・デッキ改修、放送設備整備



② 既存運動施設の改修

ひなたサンマリスタジアム宮崎ナイン-照明改修



③ 2027年国民スポーツ大会開催に向けた計画的な整備

県内の都市公園施設整備を本格化



	2019 R1年度 5年前	2020 R2年度 7年前	2021 R3年度 6年前	2022 R4年度 5年前	2023 R5年度 4年前	2024 R6年度 3年前	2025 R7年度 2年前	2026 R8年度 1年前	2027 R9年度 当年
中央競技団体 正競技場									
山之口運動公園 (郡城市)									
都城運動公園 (郡城市)									
西階公園 (延岡市)									
その他公園 (県、市町)									
老朽化対策 (長寿化事業)									
新設 新設田舎国産多様なスポーツ大会									
リノベーション リノベーションスポーツ大会									
新設 新設田舎国産多様なスポーツ大会									

宮崎駅西口駅前広場の再整備で 中心市街地の活性化に貢献！



賑わいを生み出す「イベント空間」と、その賑わいを中心市街地へと繋げる「にぎわい・交流空間」を整備！

賑わいを生む新たな拠点の整備と中心市街地との回遊性向上に向けた取組により、宮崎の更なる活性化に期待大！

高千穂通りを「居心地が良く歩きたくなる空間」とするための社会実験を実施！（ベンチの設置等）

高千穂通り横断面図

歩道部	11.0	車道部	18.0	歩道部	11.0
歩道	3.0	歩道	3.0	歩道	3.0
歩道	2.0	歩道	1.5	歩道	2.0
歩道	3.0	歩道	3.0	歩道	3.0
歩道	1.5	歩道	3.0	歩道	1.5
歩道	3.0	歩道	3.0	歩道	3.0
歩道	3.0	歩道	3.0	歩道	3.0
歩道	3.0	歩道	3.0	歩道	3.0

多目的スペース
ベンチ・緑地
自転車専用
右折車線

今後も多目的スペースの有効活用方法を検討していきます！

中心市街地

高千穂通り

宮崎駅

若草通り、広島通り、あみーろーど

グリーンスローモビリティ運行路

宮崎駅西口駅前広場が10月16日に、アミュプラザみやざきが11月20日にグランドオープン！

駅周辺と市街地を回遊するグリーンスローモビリティ「ぐるっぴー」の運行が開始

イベント空間では、様々なイベントが開催され、賑わいが生まれる！（プロ野球ライブビューイングの様子）

地元商店街によるイベントの開催（あみーろーど）



国文祭・芸文祭みやざき2020
2021/7/3 ▶ 10/17

宮崎県におけるインフラのストック効果事例集 (vol.7)

令和3年1月発行

宮崎県県土整備部